

# 大沼氏が再選に意欲

## 参院選県区 自民公認めざす

来夏の参院選眞選挙区に  
関し、自民現職の大沼瑞穂  
氏(39)は写真は27日、再  
選に向けて出馬する意欲を



形市内で同日開かれた  
党県連大会  
で、「(2期目に向け)党  
の公認を目指す」と述べた。  
党本部は7月中旬に1次公認

示した。山  
大沼氏は県選出国會議員  
のあいさつで、「山形への  
恩返しと次世代への責任を  
持つて、この5年間取り組  
んできた」とし、次期参院  
選に向け「(初当選した2  
013年の)前回と同様、

候補を決める方針で、県連  
は6月上旬にも選対会議を  
開き、候補者選定を本格化  
させる。2面に関連記事

自民党の公認を目指す。こ  
れからも山形県、日本のた  
めに働いていきたい」と決  
意を語った。

大会で再任された県連会  
長の鈴木憲和衆院議員は記  
者会見で、大沼氏の発言に  
ついて、「思いは率直に受  
け止めたい。(公認候補者の  
選定を)どう進めていくか  
は新たな役員体制で相談し

ていく」と述べた。選定の時  
期に関しては「早めに(公認  
候補者を)決め、早めに準備  
する。みんなですっかり準  
備する姿勢が問われると思  
う」とし、組織を挙げて戦う  
重要性を強調した。

大沼氏は13年7月の参院  
選で、自民公認で初出馬し  
当選。現在、厚生労働政務  
官を務めている。  
次期参院選眞選挙区を巡  
っては共産党県委員会が2  
月、前県労連議長で党県常  
任委員の新人浜田藤兵衛氏  
(64)を擁立する方針を明ら  
かにしている。